



## 謹賀新年

昨年中は、弊社事業に御尽力いただき、  
まことに、ありがとうございました。  
本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、月間通信 2022 年 1 月号をお送り致しました。

昨年 12 月の月間通信に **DIVIDE & RULE** と記載した。Divide は分断、Rule は支配。つまり、日本語では【分割して統治せよ】となる。**One World** の本領発揮かな。

今年の年賀状には、『漁夫の利』と書せて頂いた。2003 年にバグダッドに侵攻し制圧した米国は、『イラクを民主化する』と言った。『ああ これは大東亜戦争敗戦後の日本と同じだ』と思った。ダグラス・マッカーサー率いる General Headquarters が、日本にしたことは『女性解放』『労働組合』『教育制度改革』『封建的圧政撤廃』『経済民主化(財閥解体・農地解放)』いずれも民主化には欠かせない事だが、これではピラミッドも万里の長城も建たないだろうと思う。

民主主義制度とは聞こえは良いが、意識のあるひとは誰も世界が民主的に運営されているとは思っていないはずだ。米中冷戦を本気で捉えている人はいないと思うが、いつも同じ手法 Money という厄介な代物で世界は支配されている。A 国と B 国が国の存続を懸けて戦う。日本では戦国時代から資金力のある方が勝を治め、領土を拡大して来たのは何処も同じ。

A 国に B 国を攻めようという意見を創出し、B 国には A 国が攻めて来るから対抗しなければという世論を作る。A 国が逡巡している間に、第三者が A 国の振りをして B 国にトラブル(戦争の火種)を起こす。かくし

て両国は戦争状態に突入して資金需要が起こる。出来るだけ泥沼の戦いに入るように、どちらかが負けそうになるとそちらを応援する。応援の甲斐あって逆転しそうになると、そのまた逆を応援する。資金が尽きる頃、両国に資金を貸出する。かくして目出度く両国の命綱である資金繰りを手中に収めることが出来、支配が完了する。日露戦争はこのようにして、日本が勝利を治め、ロマノフ王朝から避難していたウラジミール・レーニンがある者の支援を受け、ロシア革命を起こした。毛沢東も同じ。我が国では高知県出身の首相たちは、明治維新以降先人が苦心して築いた近代日本を、このある者と結託して壊した。

私たちのビジネスは、需要のある所に商品を提供して成立する。需要を探り当てる事がビジネスの発展に大きく影響する。だけど、予め需要を創造してから供給するなら楽勝だ。つまり、問題を発生させ、それを解決可能な方法を携えてビジネスしているようなものになる。ひとを病に陥れるウイルスを作り出し、そのウイルスを撲滅するワクチンを開発して、先ずウイルスを拡散させ、頃合いを見計らってウイルスが開発できたと発表する。何やら資金需要を発生させて、資金を貸出する手口と似ている。似ているが、今回のコロナ騒動はもう少し手が込んでいて、資金で支配する事が目的ではなさそうだ。先日車で流れて来るラジオを聴いていると、オミクロン株が見つかった者の濃厚接触者は、大学受験から外すよう各公立・私立大学に通達をしたと言っていた。竹中平蔵、いや違った尾身茂が勝手に言い出した。慌てた文科省が対策案を出して訂正したようだ。ただの風邪なのに、こんな通達をまともに対応させられる関係者も気の毒だが、どうも国家はお金を使わなきゃならない宿命にいるらしい。本当かなあ。権力の存在価値を見せつけなきゃいけないだけじゃないの。

多くの人が米国の狂言だと思っている2001年 New York で起きた出来事は、テロとの戦争と銘打って 20 年続いたが、Covid-19 が発生すると終焉した。COP26 とやらでアイコン化しているスウェーデンの女の子の祖父は、地球温暖化人為説のデータを出した人物だそう。その人物がデータを発表した時は 30 年前だが『このままでは 30 年後に地球は壊滅する』と言っていた。今も地球はこのまま行くと・・・と言いながら温暖化を続けているらしい。北極熊には気の毒だが、北極の氷が解けると南極の氷が増えていないだろうか。本当に、地球は温暖化しているの？再燃した感の強い地球温暖化だが、この陰には電気自動車産業も一枚かんでいそうな気がして来た。いや順序が逆か。エネルギーを石化エネルギーから原子力エネルギーに変えたいのだから。本当に温暖化しようといまいと、そんな事どっちだっていいんだろうね。

そんな事は、いい。

信じる者こそ救われるか、信じないものこそ救われるのか知らないけれど、冒頭のグラフを見ていると、何だか不思議な気がする。GDP が我が国だけ 30 年間も伸びていない。では、我々はその事が要因で不幸に陥っているだろうか。伸びている国の人たちは幸せを享受しているのだろうか。財務省の統計では我が国の民は 2000 兆円ものお金を貯蓄しているらしい。筆筒貯金だって 100 兆円から 200 兆円もあるんだって。お金で幸せになれるなら簡単だが、それと同じように GDP の伸びで幸せになれるのだろうか。New York では、かけ蕎麦いっぱい 1600 円もすると聞いた。米国の GDP の 4 分の 1 が我が国の GDP だが、かけ蕎麦は米国の 4 分の 1 の金額でおつりが来そう。

日本は先の戦争で壊れて以来、米国の為に存在している。日本が金融緩和資金をいくら出しても、そのほとんどは米国に流れていく。いいんだよ、お金くらい来てやっても。我が国は働くことが美德だと思っている国だから。働いてお金を得る以上に、この自然の中で働いて生きていく事とは、どのような事なのかを学んでいるような気がする。和を貴び、自利利他の精神を持

つ事が出来る。働かないで贅沢する事が夢だ、理想だ、なんてお国柄とは違う。

国を売る輩がいる一方で、上手く日銀を守った人物もいる。以前に書いたが、日銀の株をある者が出資するというのを『こんな敗戦の国が迷惑を掛ける訳にはいきません』と、財務省が 55% 持ち、円を守った。2008 年【辺境の島国】というタイトルで『アジアの東の外れ、かつてここに経済が異常に発達したところがある』と我がブログを書き出した。『お金を稼ぐのは得意だか



ら持って行って良いけど、ソツとしておいてね』という気分だった。成長神話など鼻から信じられず、Counter Culture に身を投じた 22 歳だった。

儉約は美德だという遺伝子が目を覚ましたのか、2000 兆円もの現金を貯め込んでいる世界に類の無い国だから、我が国は面白い。Money などと言う下世話なもので人は幸せになれない事を知っている。奪っていく米国はいずれ近いうちに滅ぶ。経済援助を世界各地幅広くしている限り、国は攻めこまれない。貿易決済に金本位制の SDR が必要と言うなら貸出料金くらい支払ってやれば良い。それもコストに組み入れ世界が欲しがる製品を作り、高く売って回収すればいい。

富を分け合い、友好的な相互扶助の Community を形成して、豊かに静かに暮らしていける未来が待っている。四季があり自然の恵み豊かな場所だから・・・

有限会社アルファー  
吉田清一郎